

令和3年度 決算状況

資料1

一般会計

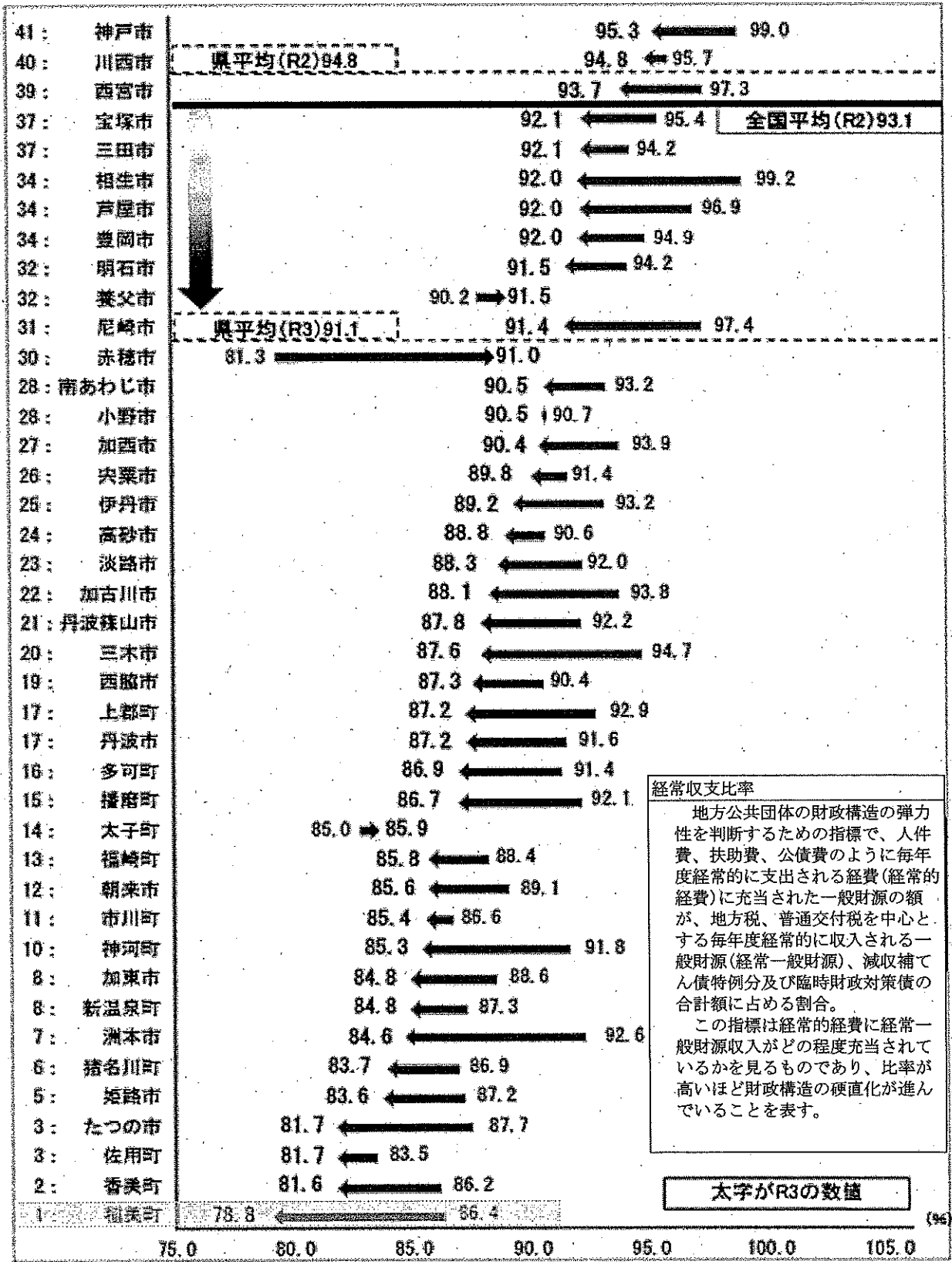
(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	増減	増減率 %	区分	令和3年度	令和2年度	増減	増減率 %
1 歳入総額(A)	14,662,409	15,598,250	△ 935,841	△ 6.0	11 基準財政需要額	5,790,457	5,453,731	336,726	6.2
2 歳出総額(B)	13,637,436	14,754,695	△ 1,117,259	△ 7.6	12 基準財政収入額	4,395,192	4,052,166	343,026	8.5
3 差引(C)	-1,024,974	843,555	181,419	21.5	13 標準財政規模	7,496,325	6,984,407	511,918	7.3
4 翌年度へ繰り越すべ る財源(D)	81,999	273,952	△ 191,953	△ 70.1	14 財政力指数 (3ヶ年平均)	0.76	0.76	0.00	0.0
5 実質収支(E)	942,975	569,603	373,372	65.5	15 実質収支比率	12.6%	8.2%	4.4	53.7
6 単年度収支(F)	373,372	△ 20,974	394,346	△ 1,880.2	16 経常収支比率	78.8%	86.4%	△ 7.6	△ 8.8
7 積立金(G)	542,098	8,468	533,630	6,301.7	17 財政調整基金現在高	4,692,763	4,150,665	542,098	13.1
8 繰上償還金(H)	0	0	0	0.0	18 減債基金現在高	501,422	511,551	△ 10,129	△ 2.0
9 積立金取崩し額(I)	0	77,100	△ 77,100	△ 100.0	19 その他特定目的基金 残高	1,141,698	1,243,909	△ 102,211	△ 8.2
10 実質単年度収支(J)	915,470	△ 89,606	1,005,076	△ 1,121.7	20 地方債現在高	10,884,742	10,399,715	485,027	4.7

※表示単位未満端数処理の関係で、積み上げと合計が一致しない場合がある

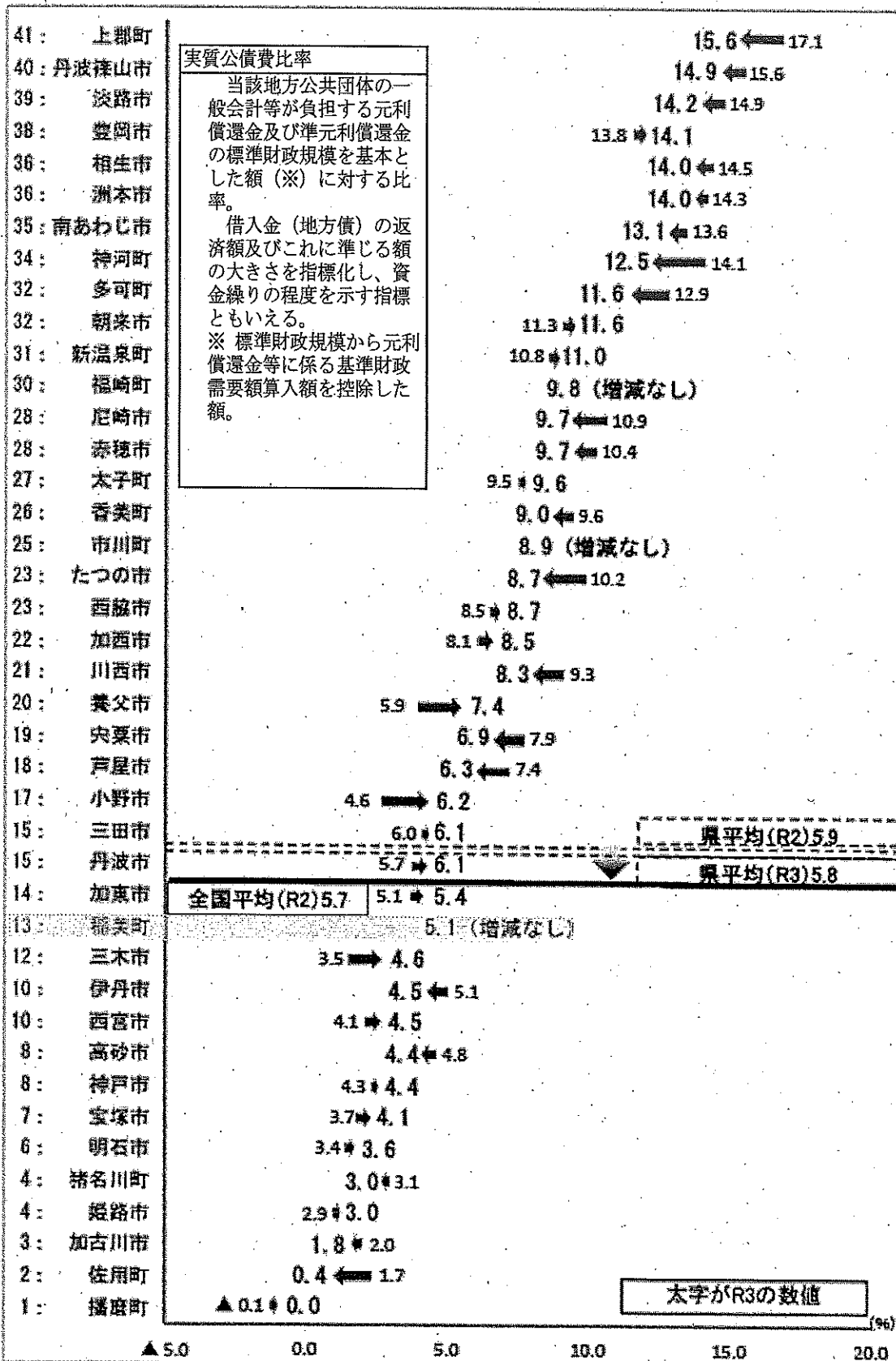
経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは3団体、比率が減少したのは38団体。
 ■最も増加したのは赤穂市(+9.7)、最も減少したのは洲本市(▲8.0)。



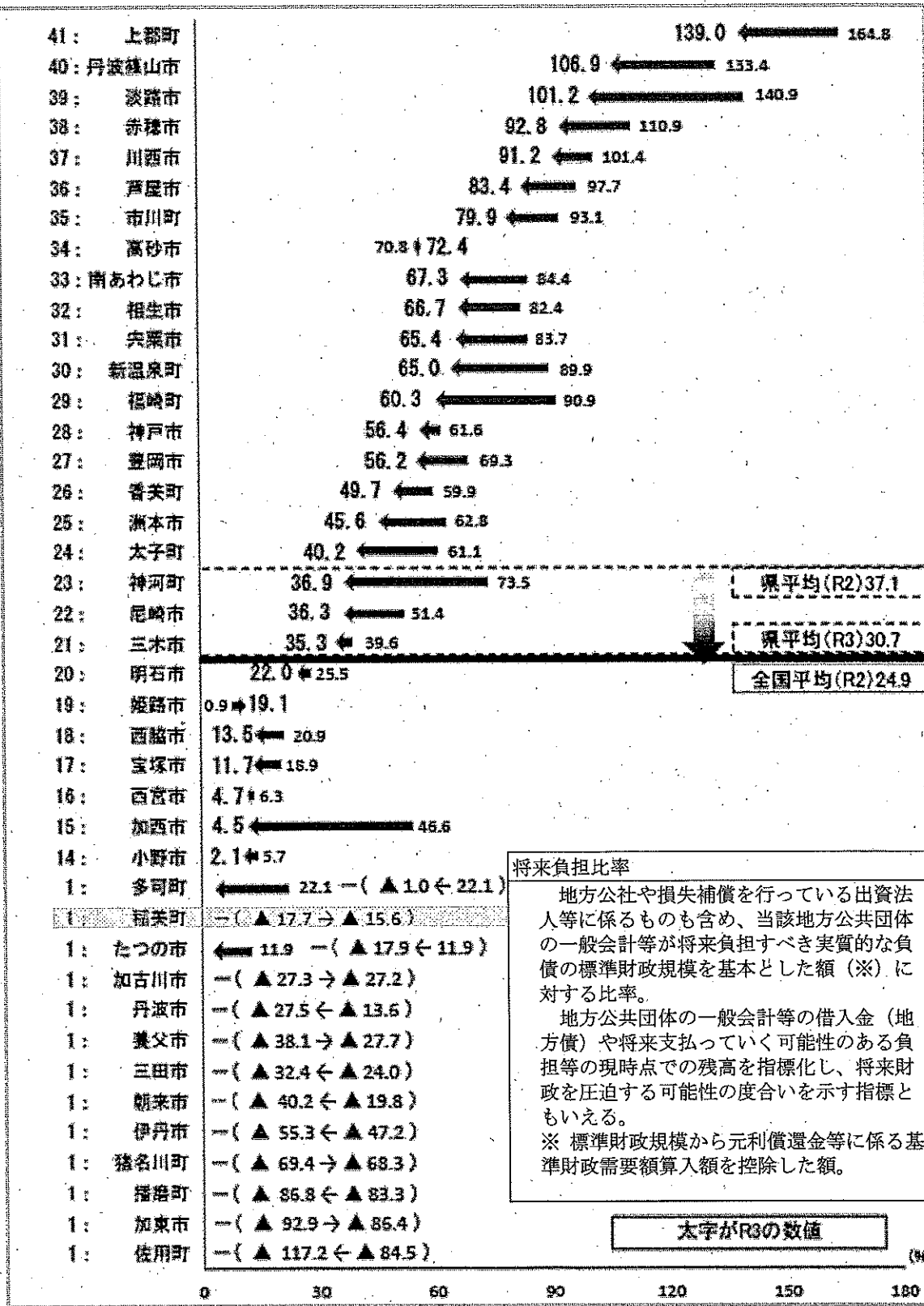
実質公債費比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは18団体、比率が減少したのは20団体、3団体が増減なし。
 ■最も増加したのは小野市(+1.6)、最も減少したのは神河町(▲1.9)、



将来負担比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは8団体、比率が減少したのは33団体、0団体が増減なし。
 ■最も増加したのは姫路市(+18.2)、最も減少したのは加西市(▲42.1)。



令和3年ラスパイルズ指数の対前年比較

■前年から指数が減少したのは23団体、増加したのは15団体
 ■100以上の団体は、前年同様、10団体
 ■最も増加したのは三木市(+0.7)

